

地方委員会、参加の皆さんにおかれましては、それぞれ、各単産・単組、そして、各地協での、春闘の取り組み、さらには、参議院選挙の取り組みに対しまして、心から敬意を表したいと思えます。

冒頭に、4月14日に発生しました、「熊本を中心とした九州地震災害」について、九州各地に甚大な被害をもたらしました。犠牲に、なられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げたいと思えます。同時にまた、一日も早い復旧・復興に向け、支援をしていきたいと思えます。

連合本部全体としては、「救援ボランティア」について、5月4日から第1陣がスタートをし、6月末まで行うこととしています。また、5月末には連合本部神津会長が熊本県知事に対し1億円の義援金贈呈を行っています。

連合山形としては、各地区メーデーや街頭でのカンパ活動を行った結果27万8千円のご協力をいただきました。御礼を申し上げたいと思えます。

二つ目は、今年の春闘の取り組みについてであります。6月1日時点の連合本部集計で定期昇給込みの平均賃上げ方式で約5,800円の賃上げとなっています。3年連続しての賃上げとなりましたが、昨年同時期に比べて約700円ほどマイナスとなっています。

県内的にも、賃上げ対象民間組合が180組合ほどありますが、4月末時点の平均賃上げ方式で約3,500円、昨年より500円ほどマイナスとなっています。厚労省の調査では昨年まで2年連続してマイナスという状況であります。

これから8月末の県内最低賃金審議会に向かって、県内最賃について、現行は時間給696円であります。年間2000時間働いても139万円という、憲法で保障している「健康で文化的な生活」には程遠い状況にあるわけでありませう。中央と地方の格差是正や県内若者の人口流出も防止のため、引き上げに向けて取り組んでいきたいと思えます。

さらに、春闘結果を踏まえて、10月上旬の県人事委員会勧告にどうつながっていくか、公務労協の皆さんとしっかり連携して、取り組んでいきたいと思えます。

三つ目は、組織拡大の取り組みについてであります。

連合山形は、1989年の12月に結成され、今年27年を迎えます。連合山形発足当初は66,000人でスタートし、2,000年代に入り50,000人台となり、今現在約45,000人となっています。組織力と財政力強化に向けて、組織拡大は待ったなしの、喫緊の課題となっています。のちほど新規加盟組合ということでご紹介申し上げます。

今後さらに、「連合山形・第6次・組織拡大・3ヶ年計画」を踏まえて、年間1,000人の組織拡大目標に向けて、「組織拡大委員会」を軸に、組織的に取

り組んでいきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いしたいと思います。

四つ目は、参議院選挙の取り組みについてであります。

今日は、地方委員会終了後に決起集会を開催し、最終盤の意思統一を行うわけですが、一つは、何と云ってもむ、安倍政権の暴走する政治に歯止めをかけるということでもあります。そのために、野党共闘を軸にしながら、過半数を取る選挙でありますので、今の安倍政権ではダメだという皆さんを如何に結集していくかということだろうと思っております。

昨日、安倍総理が山形に来ました。安倍総理は「47都道府県で有効求人倍率が1割を超えた」と豪語したそうであります。

しかし、皆さん、有効求人倍率全体は上がっていますが、その理由は、①若い人が山形から都市部への人口流出が激しくなっているということ。②上がっているのは非正規の求人であり、正規雇用の有効求人倍率は逆に今年に入り4ヵ月連続して下がっているんです」これが実態であり、このことをきちんと訴えて行く必要があるだろうと思っております。

したがって、二つは、やはり、アベノミックスの失敗を踏まえて、具体的対策として①山形を元気にすべく経済政策や雇用対策、②山形の中小企業をげんきにすべく企業対策そして、③セーフティネットとしての社会保障制度をきちんと確立していくということだろうと思っております。

そのために、県選挙区舟山やすえさん、比例代表は各産別の組織内・推薦候補必勝に向けて、連合山形45,000人組合員の総力を結集して、よろしくお願いしたいと思います。

以上4点について申し上げながら挨拶にしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。